



インプット（とちょっとのアウトプット）が大切

医療人育成センター教養教育研究部門（英語担当）

木村 眞司

母語以外の言葉を学習することを「第二言語習得」という。第二言語習得には王道はないという。非常に時間がかかる。授業やその予習復習だけでは身につきはしない。膨大な量の自学自習が必要なのである。私など、中1だった1977年からもう40年も英語を勉強しているが、やっと母語とする人の中学・高校レベルである。なぜか。やはりその言語への exposure（曝露）が足りないのであろう。何千時間、何万時間と学習した英語ですらこうなのだから、少しかじっただけの中国語、ドイツ語、韓国語、ロシア語が挨拶レベルにとどまっているのは当然である。しかし、芸は身を助く。ときどき相手を喜ばすことができる。



第二言語習得をめぐる理論や方法論はこの40年、格段の進歩を遂げた。私が学習したときの方法の多くは、とうの昔に古くなってしまって(outdated)いる。が、変わらないこともある。それはインプット(input)の量の大切さである。多量の、理解できるインプット。ある程度わかる内容の第二言語をたくさんアタマに流し込むのである。たくさんアタマに流し込んだ上で、少し使ってみる。すなわちアウトプット(output)する機会を持つ。こうして身についていく。

あの手、この手である。ナマの英語を聴く。注意して聴くことが大切。むしろ、英語を流しっぱなしにしてというのもあるだろうが全部が流しっぱなしではうまくいかない。聴き取りに自信のない人には、注意して聴き、書き取ろうとすることが有効だろう。今は生の英語はいくらでも聴くことができる。昔からあるNHK ラジオの英語講座は益々充実した（私は『基礎英語3』が特に優れていると思い、聴いている）。スマホやインターネットで海外のラジオ放送をいつでも聴くことができる。

語彙も増やしていかなければならない。興味があって面白く読めるものを読むのが有効だろう。が、興味のないものの語彙も増やしていかなければならない。そのためには時事的なものを読むことが効率がよいと思う。日本語で既に耳に入っていることが多く、見当が付くからである。

そこで、である。図書館を有効に利用していただきたい。このたび英語の多読用図書がたくさん用意された。選んだのは木村・山口・Wheelerの英語教員三人。場所は図書館に入って左に折れて突き当りである。

“Star Wars” や “Ponyo” などのマンガとか、ハリーポッターとか、他の小説とか。graded readers もある。これは平易なものから難しいものまで段々レベルを上げていける注釈付きの本である。是非、まずは手にとってパラパラ見て（browse して）いただければと思う。

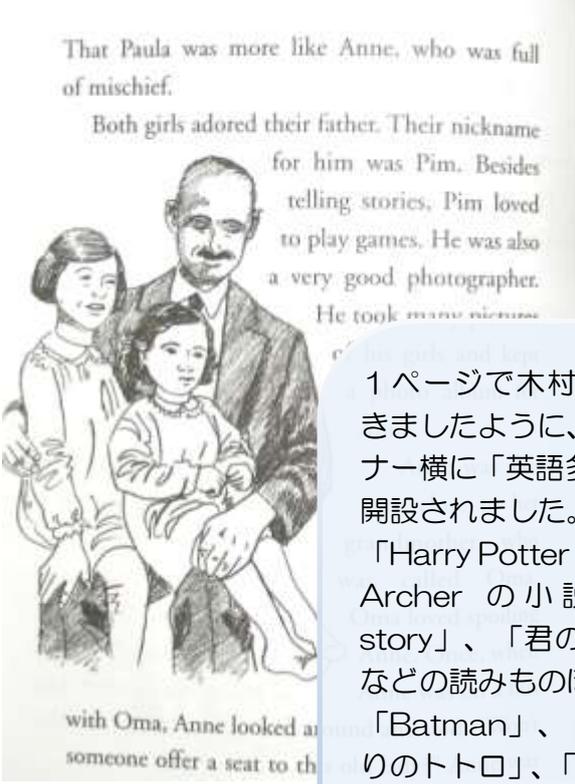
また、ブラウジングルームには英字新聞も5月ごろから置いていただいている。The Japan Times と The New York Times 国際版である。自分で買うと非常に高い。ご活用いただきたい。

皆さんの第二言語習得への挑戦を心から応援する次第である。



英語多読図書コーナー

—たくさん読んで英語力を身に付けよう！—



1ページで木村教授にご紹介いただきましたように、図書館2階辞書コーナー横に「英語多読図書コーナー」が開設されました。

「Harry Potter シリーズ」、Jeffrey Archer の小説、「Steve Jobs story」、「君の名は」の英語版小説などの読みものほか、「Star Wars」、「Batman」、「Snoopy」、「となりのトトロ」、「のだめカンタービレ」などのコミックも揃えています。

既存の図書のほか、英語多読図書として読んでみたい本があればご希望をお寄せください。

・ 図書館 HP>図書館サービス>資料の購入と寄贈
<https://inforavi.sapmed.ac.jp/jpn/content/library-services/677/>



閲覧室内の複合機及び AV ルームの変更について

図書館システム更新作業のため、学外文献複写サービス及び図書館内のパソコン利用、特別開館時間帯での図書貸出などを一時休止させていただきましたが、皆様方のご協力により、無事に作業が完了しました。この誌面をお借りして、改めてお礼申し上げます。

今回の更新作業に伴い、閲覧室内の複合機及び AV ルームについて、後述のとおり機器の配置など一部変更させていただきましたので、お知らせします。

1. 複合機の配置について

これまで図書館にはプリンタ（AV ルーム、文献検索コーナー）と複合機（3、4階コピーコーナー）を設置していましたが、10 月からは複合機のみとなりました。各フロアの設置台数及び使用方法につきましては下表のとおり変更となりましたのでご確認ください。

表：各フロアの複合機配置場所及び台数

フロア	場 所	現 構 成	旧 構 成	料 金	提供サービス
2 階	文献検索コーナー	複合機 1台	プリンタ 1台	モノクロ 10円 カラー 50円 (金額の変更なし)	従来の機能をご利用できます。 ○図書館資料のコピー ○文献検索コーナー設置パソコンからの印刷 ○ノートパソコンからの印刷
	AV ルーム	複合機 1台	プリンタ 1台		
3 階	文献検索コーナー	複合機 1台	プリンタ 1台		
	コピーコーナー	複合機 1台	複合機 2台		
4 階	文献検索コーナー	配置なし	プリンタ 1台		
	コピーコーナー	複合機 1台	複合機 1台		



複合機



2階 情報検索コーナー

2. AV ルームについて

AV ルームは、これまで DVD や VHS ビデオ及びインターネット学習ツール等の視聴覚資料の利用を目的とした環境整備を行ってまいりましたが、大型テレビモニターを設置して視聴覚資料を用いたグループ学習スペースを新たに提供する準備を進めております。このスペースを確保するために、パソコンを 12 台から 6 台（Windows 4 台、Mac 2 台）としました。

余談ですが、学部学生への貸出用ノートパソコンのサービスを充実させるため、新たに 12 台追加しておりますので、合わせてご利用ください。

情報センターセキュリティ便り

先日は、全学的な情報セキュリティ現況調査にご協力いただき誠にありがとうございました。
現在、情報センターでは皆様からの回答結果を集計し、その結果を基に本学において適切なセキュリティ対策を検討しております。皆様におかれましても、使用しているネットワーク接続機器(Windows, Mac 等)のOS アップデート、ウィルス対策ソフトの導入について、引き続きご協力をお願いいたします。

昨今、本学に配送される不正(スパム、フィッシング、ウィルス)メールが非常に高度化されています。一昔前までは、「怪しいメールは開かない」という自己対策を行えば良い状況でしたが、最近は適切な日本語で正常なメールを装った不正メールが主流となりつつあります。学内でメールをご利用される方は以下の点に注意して下さい。

- 取引、交友の無い方からの突然のメール
- 見たことが無いアドレスからのメール
- メール本文に宛名が無いメール

情報センターでは上記のような不正メールをブロックするため、「迷惑メール対策サーバー」を導入しております。しかし、迷惑メール対策サーバーの自動的なブロックには限界があります。不正メールにお心当たりがありましたら、情報センター総務・システム係(下記連絡先参照)まで連絡をお願いいたします。また、不正メールかどうか分からない場合の照会も同様に情報センター総務・システム係にご連絡いただけましたら、調査が可能です。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



連絡先 総務・システム係
内線：22390、22490
Email : icccj@sapmed.ac.jp

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関する事	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス(カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関する事	24180	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関する事	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関する事	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関する事	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関する事	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関する事	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関する事	24130	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮(liber)」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp